

会津若松市第2期環境基本計画（改訂版）（素案）について

市民部 環境生活課

1 改訂の趣旨

「会津若松市第2期環境基本計画」（計画期間：平成26年度から平成35年度の10年間）は、環境基本条例第3条の基本理念に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に推し進めるため、平成26年3月に策定したもので、市総合計画を環境面から実現する、環境行政の最上位の計画の役割を有している。

計画期間の中間年にあたる本年度、より実効性が高いものとなるよう、目標の再検討などの中間見直しを行い、計画の改訂版を策定する。

2 改訂の内容

計画の中間見直しであることから、骨格である「望ましい環境像」や「基本目標」などについては変更しないこととし、国や県などの動向をはじめ、計画期間中に策定・改訂された市の計画、これまでの取組の進捗状況（別紙）など環境状況の変化を踏まえながら、「環境目標」や「環境施策」などを中心に、下記のとおり見直しを行う。

① 環境目標等の見直し

「会津若松市第7次総合計画」など現行計画の策定以降に策定・改訂された市の計画に基づき数値等の更新を行うほか、進捗状況や国・県の動向などを踏まえ、一部の環境目標等について見直しを行う。

■見直しを行う環境目標等とその概要

見直しを行う環境目標等		見直しの概要（理由）	該当頁
個別目標 1-2	汚水処理人口普及率	目標値の更新（市第7次総合計画の策定）	34
個別目標 2-1	森林施業面積	中期目標値、目標値の更新（同上）	41
個別目標 2-2	有機栽培ほ場面積	目標値の削除（市第3次食料・農業・農村基本計画の策定）	43
個別目標 2-2	環境保全型農業直接支援対策事業の取組面積	新たに環境目標として追加（同上）	43
個別目標 2-2	担い手に集積された農用地の面積割合	目標値の更新（同上）	43
個別目標 2-3	農業集落排水施設水洗化率	目標値の上方修正（目標達成）	46
基本目標 3	温室効果ガス排出量の削減目標	現状値、目標値の再推計（国統計数値の改訂等）	50
個別目標 3-1	再生可能エネルギーの供給目標値	現状値、中期目標値、目標値の再推計（国統計数値の改訂等）	53
個別目標 3-2	エコドライブ宣言者数	目標値の上方修正（目標達成）	57

個別目標 3-2	「福島議定書事業」参加 団体数（市内）	新たに環境目標として追加（県の取組動向 等を踏まえた追加）	57
個別目標 3-2	「エコチャレンジ事業」 参加世帯数（市内）	新たに環境目標として追加（同上）	57
個別目標 3-3	家庭用スマートメーター 設置数	目標の見合わせ（国等の動向を踏まえた見 合わせ）	61
個別目標 3-4	1日1人あたりのごみ排 出量	目標値の更新（市一般廃棄物処理基本計画 の策定）	63
個別目標 3-4	リサイクル率	目標値の削除（同上）	63
個別目標 3-4	総リサイクル量	新たに環境目標として追加（同上）	63
個別目標 4-2	公園等緑化愛護会数	目標値の更新（市第7次総合計画の策定）	68

② 温室効果ガス排出量等の再推計

平成28年12月、精度向上などを目的に、国の統計（都道府県別エネルギー消費統計）の作成方法が変更され、数値が平成2年度まで遡って改訂されたことに伴い、この統計数値をもとに推計を行っていた市域全体の温室効果ガス排出量および再生可能エネルギーの供給目標値について、改訂後の数値に基づき、基準年度（平成22年度）も含め再推計を行い、より実態に近い数値とする。

これにより、温室効果ガス排出量の削減目標（基本目標3）、一次エネルギー需要および一次エネルギー需要に占める再生可能エネルギー供給量の割合の目標（個別目標3-1、個別目標3-3）を下記のとおり更新する。

なお、国統計の利用可能な最新データは平成26年度のものであるため、当該年度を中間評価値とする。

■温室効果ガス排出量の削減目標（基本目標3）

	更新前	更新後
温室効果ガス排出量の削減目標	平成22年度比で20%削減 (186.7千トンCO2削減)	平成22年度比で13.2%削減 (135.0千トンCO2削減)

【参考】中間評価値（平成26年度実績）：平成22年度比で6.7%増（68.4千トンCO2増）

■再生可能エネルギーの供給目標値（個別目標3-1、個別目標3-3）

	更新前	更新後
一次エネルギー需要	現状値（平成22年度）15,247.6TJ 目標値（平成35年度）13,608.4TJ	現状値（平成22年度）15,976.5TJ 目標値（平成35年度）14,245.8TJ
一次エネルギー需要に占める再生可能エネルギーの供給量の割合	現状値（平成22年度）41% 目標値（平成35年度）60%	現状値（平成22年度）39% 目標値（平成35年度）57%

【参考】中間評価値（平成26年度実績）：44%

③ 環境施策の追加（新たに取り組むもの）

- ・国の「福島新エネ社会構想」や「水素基本戦略」の策定を受け、再生可能エネルギー普及のための施策として、「水素エネルギーの活用検討」及び「燃料電池自動車の普及啓発」の取組を追加（56 ページ）
- ・自然環境や生活環境との共生を図るための施策として、「自然環境と事業活動の調和」を掲げ、「再生可能エネルギーに取り組む事業者等との意見交換の場の設置」などの取組を追加（56 ページ）
- ・今後の固定価格買取制度等の見通しを踏まえ、「蓄電設備の普及促進」の取組を追加（56 ページ）
- ・温室効果ガス排出量削減のため、住宅・建築物の省エネ化に向け、「Z E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）、Z E B（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の普及啓発」の取組を追加（58 ページ）

④ その他の見直し等

- ・現行計画に含まれている「会津若松市猪苗代湖水環境保全推進計画」、「会津若松市新エネルギービジョン」、「会津若松市バイオマス活用推進計画」及び「会津若松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の4計画についても、本計画の見直しにあわせ、数値等の改訂を行う。
- ・各種統計や観測データ、規制値等について、最新のものに更新する。
- ・平成30年に市民などを対象に実施した環境意識調査（アンケート）の結果について、計画策定時の調査結果との比較を行う。
- ・このほか、適宜字句等の修正などを行う。※平成31年5月の改元を踏まえ、西暦を併記